

「新型コロナウイルス対策」の緊急要望

この間の調査やお寄せいただいた声をもとに、区長および教育長に対し、「新型コロナウイルス対策について」の緊急要望をおこないました。日本共産党中野地区としても対策本部を立ち上げ、国会議員団や東京都議団とも連携しながら、中野区に対して、引き続き、必要な対策・対応を求めていきます。ぜひ、声をお寄せ下さい。

要望の主な内容

- 子どもの居場所を確保するため、児童館・キッズプラザについては運営のあり方を柔軟に検討を
- 新型コロナウイルス感染症に伴う中小企業相談窓口の設置
- 小中学校の給食食材等の納入業者に損失を補填する措置
- マスクが不足している医療機関や介護施設などに対し、災害備蓄用マスクの支給
- 区民の不安にこたえるため保健所の相談体制強化、迅速な情報共有と正確な情報発信



▲アンケートフォーム



▲区長へ緊急要望（3月9日）

東日本大震災・原発事故から9年 第17次東北支援へ

私が初めて石巻市へ伺ったのは、東日本大震災から2ヶ月半後の2011年5月下旬でした。津波によって一変したまちの光景が脳裏に焼きついています。最初の支援は、市立湊小学校周辺地域で被災された方の自宅の泥出しと救援物資の運搬でしたが、今回の第17次支援で、再び、この地域へ。毎回、大好評の劇団「じゃけん」さんのお芝居には、50名近い方が足を運んで下さいました。「思わず唄を口ずさんじゃったわ」「久々にお芝居にふれて心がワクワクしました」「楽しい時間をありがとう」などの感想が。また、支援募金にて現地で購入した日用品のお届け、提供いただいた物資によるバザーも大変、喜ばれました。こうした支援を継続できるのは、何よりもご協力いただいている方々のおかげです。あらためて、感謝とお礼を申し上げます。



▲お芝居上演



▲バザーの様子



▲お届けした物資

地域の中で



▲野方消防団フェスタ



▲中野駅北口前でのなんでも相談会



▲プラザ祭（松が丘シニアプラザ）



▲定例の街頭宣伝

視察へ



▶さいたま市
子ども家庭総合センター
（あいばれっと）



浦野さとみ プロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ（39才）。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目（総務委員会、地域包括ケア推進調査特別委員会に所属）。趣味：竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

（弁護士による無料法律相談も実施中です）



日本共産党 中野区議会議員 浦野さとみの区政報告
作業療法士

ほっこり通信

No. 84

何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

- ホームページ: <http://urano-satomi.jp>
- 浦野さとみ 検索
- Twitter: @urano_satomi
- Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



一人ひとりに寄り添った区政を



1年間、中野区としてお金をどう使っていくのか。2020年度予算案の審査も含めた区議会定例会が2月13日～3月23日の会期でおこなわれました。酒井区長として、2回目の予算編成となり、これまでの前区政では実施・検討に至らなかった様々な施策が盛り込まれました（参考：右記一覧表）。

日本共産党からは、本会議で羽鳥区議・小杉区議が一般質問を、予算特別委員会で長沢区議・来住区議・浦野が一問一答での総括質疑をおこない、いさ区議が新年度予算案に対する賛成討論をおこないました。詳細については、中面で紹介致します。

新たに予算化されたもの

- 木造住宅耐震改修助成の実施（23区で中野区のみが実施していませんでした）
- 公契約条例制定に向けた検討（労働者の賃金保障、公共サービスの質の確保のために必要）
- 洪水ハザードマップの充実（内容の充実とともに対象エリアへ全戸配布）
- 子どもの貧困対策の具体化（実態調査を経て、施策の具体化を検討）
- 子どもの権利条例の制定検討
- 点字版区報の発行
- 多文化共生のための取り組み など



2020年度予算案、賛成多数で可決

自民党・公明党からは、「児童館への木製おもちゃ配置」や「誰がどんな状況でも読みやすくなるユニバーサルデザインフォントの導入」などを削減する予算修正案が提出されていました。しかし、「分科会での質疑を鑑みて…」という理由で、採決直前に取下げの申し出があり、一般会計予算案は賛成多数で可決となりました（無所属区議2名が反対）。



▲予算特別委員会での総括質疑（2月25日）

予算特別委員会 総括質疑ハイライト

特別支援教育の充実について

Q 就学相談の結果、就学支援委員会が判断した就学先（①区立学校の通常学級 ②区立学校の特別支援学級 ③都立特別支援学校）と異なる場所に就学することは少なくない。相談に応じる人員を増やすことは重要だが、一人ひとりに寄り添い、共有し、正確な情報を伝えながら、保護者の意向を最大限尊重することが大切ではないか。

A 就学相談は、お子さん本人、保護者の方が主体。正しい情報の提供と姿勢は相談の基本。日々、改善しながら、取り組んでいく。

Q 区立学校の特別支援学級（知的障害）は、自治体が必要と判断すれば設置することができる。学校統合の影響などで通学距離の問題も出てきている。あらたな学級の設置も検討すべきではないか。

A 今後、適切な配置について調査していく。

MEMO 就学相談とは……一人ひとりの幼児・児童・生徒の発達段階や障害の状態に応じた教育の場をどのように保障していくのかを保護者とともに考え、相談すること。就学相談専門員が相談に応じ、就学支援委員会が就学先を判断する。中野区でも相談件数は年々、増加しており、新年度は心理職1名を増員し、就学相談専門員はあわせて4名の体制に。



2 生活再建の支援を

Q 区民税・国民健康保険料・介護保険料・保育料・区営住宅使用料などを納めることは大原則であるが、払いたくても払えない方がいることも、直視すべき重要な課題ではないか。国民健康保険料は、収納率の目標に追いつかない状況が続いており、債権管理と同時に、生活再建への支援という視点が必要ではないか。

A 滋賀県野洲市など、生活再建の視点で先進的な取り組みをしている自治体について考察している。



MEMO 滋賀県野洲市では「ようこそ滞納いただきました条例」を制定し、滞納は市民からのSOSであり、行政として手を差し伸べるチャンスと捉えています。「一人への支援が社会のためになる。まずは、徹底的に一人を支援する。成功すれば、それを制度に変えていけばいい。それが社会のためになる」という、野洲市の姿勢は、非常に学ぶべき点があります。

3 平和の森公園の運用、公園利用者・地域住民の声の反映を

Q 6月から指定管理者による運営が始まる。平和の森公園全体の指定管理料および東京都下水道局に支払う賃借料は、年間で約2億5800万円。指定管理業者と区は、基本協定と年度協定を結ぶことになる。「トラック設置によりこれまでの草地広場とは異なる」「バーベキューサイト設置によって、においやゴミが発生し、公園全体の環境が変わる」「これまではなかった体育館や駐車場ができることにより、車や人の往来が増え、周辺環境が一変する」など、多岐にわたる懸念や不安の声が寄せられている。こうした声は把握しているか。また、協定の中で、その声をどう反映させていくのか。

A そうした声があることは承知している。これまでの議論も踏まえて、区で考え方を示していく。



Q バーベキューサイトについては、「園路への煙の流入等課題がある」とし、検討するとしていた。バーベキューサイトからウォーキング・ジョギングコースまでは、わずかな距離（10m）しかない。すぐ横にはすべり台もあり、周囲の民家までは50mほど。たくさんの懸念があるにもかかわらず、検討・検証がなされずに運営が開始されることはあってはならないと思うが、どう考えているか。

A 無煙ロースターの導入を予定している。課題については、事前に検証・確認をしていく。



Q 指定管理者での運営が始まる前に、まずは、区民の考え・検討しているルールについて区民にも説明し、その上で、区民の声を聞く場をしっかりと設けるべき。同時に、区民からその場に出された意見や声を十分に受け止め、聞き置くだけにせず、協定締結までの運用ルールの検討の中で、最大限、反映していただきたい。

A ルールについて区民の考え方をまとめ、意見交換会などの場を設けていく。利用者の声を反映した管理運営となるよう、協議していく。

※意見交換会は5月に開催される予定です（総括質疑後、所管委員会にて報告あり）

その他、日本共産党議員団として取り上げたテーマ

- 新型コロナウイルスへの対策
- ジェンダー平等について
- 羽田新飛行ルートの問題について
- 精神障害者の居住支援について
- 中野駅新北口前エリア再整備について
- 子どもの人権、児童相談所について
- 保育園・学童クラブの待機児童解消について
- 国民健康保険、介護保険について
- 公契約条例について
- 交通政策について など

傍聴者の声

浦野さんの予算特別委員会の質問を傍聴しました。私自身に関係する質問もありました。1時間の中で、ハキハキと的確に、そして、具体的な数字を引き出す質問をして下さり、安心感を覚えました。一区民では調べにくい事もあるので、こうやって私達の代わりに区から情報を聞き出してくださり、大変ありがたいと感じました。